



今月の援農状況

- 寒さ一段と厳しくなりました。
露地で ハウスで 農家屋内での 援農作業 ご苦労さまです。
- ・ ハウス野菜の片づけは 動き始めますと 汗ばむほどのあたたかさ。
- ・ 年末を控えて 出荷作業も 追いこみの段階を むかえています。
- ・ 先月 11月の援農時間は 950時間弱ー 通年値は 約9300時間。



援農体験記

二人のスーパー農女 小口 香苗

「たがやす」と「すずしろ」を掛け持ちで始めたばかりの新米です。町田の農家S家で出会った援農仲間の話題をおふたつ。

その一・・・もう何年もS家に援農に来ているという70歳超の彼女、農家の要求ズバリの仕事振り。「スティックボール」の収穫などは早くてきれいで見事なものです。そのまま袋に詰められます。援農は週に一度か二度行くゴルフのための体力作りだそう。

その二・・・援農を始めたばかり、という彼女はちょうど10上の69歳。本来なら労わらなければいけないところ。が、軽トラの荷台にタイヤに足をかけることもなく後ろからひょいっと。53年もソフトボールをしているそうです。己の体力のなさにウォーキングでも始めようかと思う年の暮れ。

富所農園 だより

窓口責任者 酒井 敏夫



大きな大根が大収穫

11月より2回目の焼却作業を6人参加で行い、焚き火談議は放射線量の話で持ちきり、狭山茶、奥多摩茶まで出ました。馬糞の提供して下さる乗馬クラブには12日にささやかなお歳暮を提案者と2人で届け、来年もお願いしてきました。天災、人災、想定外災と試練の年でありましたが、畑作業を楽しむ日常がとても価値在ること、しみじみ感じられる年でありました。来年は益々お互い体験学習して、情報交換の文化を発信して行きましょう。

「大根引く 土へ力をもどつつ」 (読売)

「菜の花プロジェクト」

かって 当会でも 話題になりました全国規模の「菜の花プロジェクト」が またまた 脚光を浴びています。景観対策・食用油・バイオ燃料・有機肥料などの面からも着目される菜の花栽培で 各地にプロジェクトが 次々と 誕生しているとのこと。ホームページを アクセスしてみました。http://doraku.asahi.com/hito/runner2/111115.html



早咲きの菜の花カンザキハナナ(寒咲花菜)と琵琶湖を背に活動を語る藤井絢子さん

菜の花の季節だ。野山を黄色に包む菜の花は、見てもよし食べてもよし。さらにナタネ油を石油に代わるエネルギー源にしようと、市民運動を展開する。農業や地域を再生させる資源循環型の社会に向けて、目指すは「イエロー・レボリューション(黄色い革命)」だ。

チョッと耳にした情報・アドバイス

- (1) 「室内市民農園」 (NHK おはよう日本)
大阪の宝塚市に誕生。太陽代りの照明は24時間利用でき 短期で収穫が可能とか。インターネットで育ち具合が確認でき 多忙なサラリーマンにも好評とのこと。
- (2) 第一次産業：農業 での革命 — 「農業革命」
いわゆる「産業革命」は第二次産業における大変革。そして第三次産業の「情報革命」で経済は大きく発展。残された第一次産業の農業がこれから大きな役割分担。
- (3) 「農業を守る知恵と労力を」(12/22 読売新聞 記者ノート)
「農家や市民参加の成功事例があり地場産物を学校給食で使う動きもひろがる。東京の農地を守るには農家と消費者である市民が知恵と労力を出し合うことが必要」

事務局からのお知らせ

人材ー農家需要と市民意欲のマッチング

- (1) よき 新年を
市内でも 氷の便りを耳にします。今年1年 お世話になりました。年が明けて2月25日(土)には 総会・講演会を設定させていただきました。ご出席方 ご配慮下さい。
- (2) ブルーベリー剪定講習会 & 篠竹採り
既に 一斉同報で 連絡させていただいていますが ブルーベリー剪定の講習会を1/14(土) 篠竹採りを1/25(水) 計画しました。ご参加お待ちしております。
- (3) 2012年度 会費の納入 — 1/4 から 1/31 の間をお願いします
会費額は1500円(高校生&大学生は500円)。ご家族分は お一人500円。
すずしろ22 郵貯記号10040 番号94963201(ATM利用で手数料が無料)